

子宮頸がん予防ワクチン(サーバリックス)



子宮頸がんは発がん性 HPV の感染が原因です。

発がん性ヒトパピローマウイルス（HPV）は感染しても多くの場合ウイルスは自然に排除されますが、一部は感染が持続し子宮頸がんを発症することがあります。



発がん性 HPV16 型・18 型の感染を防ぐワクチンです。

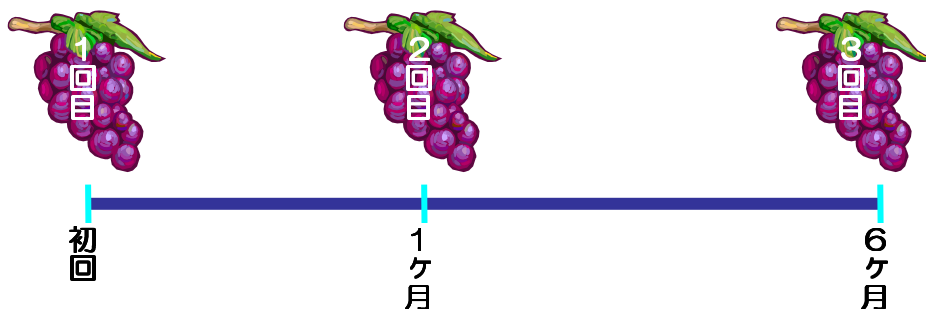
発がん性 HPV には 15 種類ほどのタイプがあり、中でも 16 型・18 型は子宮頸がんが多くみつかります。

サーバリックスは全ての HPV の感染を予防できるわけではありません。HPV16・18 型以外の感染は予防できません。また、すでに感染している人に対してウイルスを排除したり、発症している子宮頸がんを治療することはできません。



接種対象・スケジュール

10 歳以上の女性に対して 3 回接種します。



費用 : 1 回 17000 円(税込み)。(3 回で 51000 円)



効果

予防効果は現在検討が続けられており明らかになっていません。現時点で成人女性で一番長い人で 6.4 年間（平均 5.9 年間）とされています。

予防効果を持続するために、将来サーバリックスの追加接種が必要となる可能性もあります。今後の情報に留意してください。



すながわこどもクリニック

